

## 資料2 料金表説明資料

### 基本料金の各パターンの特徴について

	特徴
基本料金 減額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少量使用者ほど現行料金とさほど変わらない（安くなる場合もある）ので、負担は比較的小さくなる。</li> <li>・ 基本料金を減額する分、従量料金の単価が増加する。</li> <li>・ 料金全体に占める基本料金の割合が減り、使用水量減少の影響を受けやすく、経営の安定性は比較的低くなる。</li> </ul>
基本料金 据置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基本料金減額と増額の中間の性質をもつ。</li> <li>・ 料金全体に占める基本料金の割合は変わらないので、経営の安定性は現状維持となる。</li> </ul>
基本料金 増額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 少量使用者ほど負担が比較的大きくなるが、水量<math>20\text{m}^3 \sim 40\text{m}^3</math>の増加率は3パターンの中で一番小さくなる。</li> <li>・ 基本料金を増額する分、従量料金の単価が減少する。</li> <li>・ 料金全体に占める基本料金の割合が増え、使用水量減少の影響を受けづらく、経営の安定性は比較的高くなる。</li> </ul>

低

経営の安定性

高

改定率（20％・25％・30％）は増えれば増えるほど経営の安定性は高くなる一方で、使用者の負担は大きくなる。